

物語からことばへ

ことばから役割へ

作家

小川 洋子

小川洋子さんの作品の魅力にインタビュー形式で迫ります。

放送大学大阪学習センター所長
大阪大学名誉教授・日本学士院会員

金水 敏

日本語学者が小川洋子さんと村上春樹さんの作品を分析します。

● 総合司会

毎日放送アナウンサー

西 靖

参加費
無料

2024 10.5 SAT

13:00 ~ 16:00 <開場11:45>

箕面市文化芸能劇場大ホール

大阪府箕面市船場東 3-10-1 | TEL 072-726-3000

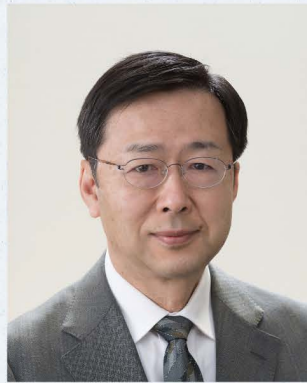
どなたでもご参加いただけます

参加申し込みはこちら ※先着順

申込締切 2024年9月27日(金)



撮影：嶋田礼奈



物語からことばへ ことばから役割へ

第1部 〈13:00~14:30〉

大阪大学箕面キャンパスは、OUGC (大阪大学グローバルキャンパス)として、外国語・外国学研究等の成果を介して地域の市民と世界を結ぶという使命のもと、昨年より大阪大学外国語学部・外国学専攻シンポジウムを開催しています。第2回となる今回は、「物語を紡ぐこと、その物語を翻訳すること」に焦点を当てて、ことばの持つ様々な役割について考えます。

トーク

狭間で待つ、ということ

作家 小川 洋子

小説を読むことは、しばしば旅にたとえられます。物語とは、私たちが日常から別の世界へと運んでくれる、素敵な乗り物なのかもしれません。でも、何かの拍子にこの乗り物が止まってしまったら？ どことも知れぬ場所、いつとも知れぬ時の狭間に取り残されてしまったら？ そんなひやりとする想像を誘いだす小川洋子さんの小説の魅力に、インタビュー形式で追ってみたいと思います。最新作『掌に眠る舞台』や世界各国で刊行されている『密やかな結晶』を中心に、創作という営みや翻訳について、また小説のなかの事物や登場人物の状況などについて、〈待つ〉という観点からお話を伺います。

● 聴き手



大阪大学人文学研究科
外国学専攻教授

田邊 欧



大阪大学人文学研究科
外国学専攻講師

篠原 学



撮影：嶋田礼奈

講演

翻訳は物語を運び、新たな物語を紡ぐ —日本語学から見た村上さんと小川さん—



優れた言語表現は翻訳されて海外へ、世界へと運ばれます。もちろん、小説作品もそうです。翻訳に対して特異な関わりを持った作家として、まず村上春樹さんを取り上げます。村上さんは日本と世界で最も有名な小説作家の一人であるだけでなく、アメリカ小説の翻訳家でもあるのですが、さらに日本を舞台にした小説に登場する人物に、あたかも翻訳小説や吹き替え映画のような話体 (speech style) で話させるという技法を編み出しました。さらに小川洋子さんもまた多くの国・地域で作品が翻訳されている作家であり、またご自身も翻訳をされています。小川さんの作品には、翻訳がどのような影響を与えているのでしょうか。これらの点について、本講演では日本語学的に分析していきます。

放送大学大阪学習センター所長 金水 敏

第2部〈14:45～16:00〉

鼎談

ことばで伝わるもの、ことばを越えるもの 小川 洋子 × 金水 敏 ● ファシリテーター 毎日放送アナウンサー 西 靖

作家、日本語学者、アナウンサーというそれぞれ異なる立場、異なる領域で「ことば」に日々向き合っておられる小川洋子さん、金水敏先生、西靖さんによる「物語」の共創をお楽しみいただきます。「物語」はどこから生まれ、どのように紡がれ、どこに着地するのでしょうか？



登壇者プロフィール

小川 洋子 (おがわ・ようこ)



撮影：森清

1962年岡山市生。早稲田大学第一文学部文芸科卒。1988年『揚羽蝶が壊れる時』で海燕新人文学賞を受賞してデビュー。1991年『妊娠カレンダー』で芥川賞、2004年『博士の愛した数式』で読売文学賞、本屋大賞、2006年『ミーナの行進』で谷崎潤一郎賞、2013年『ことり』で文部科学大臣賞など数多くの文学賞を受賞。日常と非日常(リアルと幻想)が交錯する独特の世界観を描いた作品が多い。『密やかな結晶』(1999)は、近年海外でも高い評価を受けている。最新作『掌に眠る舞台』(2022)に注目が集まる。2024年日本藝術院会員に選定。

金水 敏 (きんすい・さとし)



1956年大阪生。東京大学院修士課程修了。神戸大学文学部助教授その他を経て、2022年3月まで大阪大学大学院文学研究科教授。同年大阪大学名誉教授、放送大学大阪学習センター所長となって現在に至る。2020年12月に日本学士院会員、2023年10月に文化功労者に選定。主な著書に『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』(岩波書店)、『日本語存在表現の歴史』(ひつじ書房)、『役割語』小辞典』(編著、研究社)等。

アクセス



箕面市文化芸能劇場大ホール 大阪府箕面市船場東3-10-1

- 大阪メトロ御堂筋線～北大阪急行電鉄「箕面船場阪大前」駅エントランス(駅南側メイン出入口)すぐ
- 阪急バス「箕面駅」から彩都線または箕面山麓線「箕面萱野駅」下車→北大阪急行電鉄「箕面船場阪大前」駅エントランス(駅南側メイン出入口)すぐ

※箕面キャンパスには、駐車場・駐輪場がございません。お手数をおかけしますが、お車や自転車でお越しの場合は、周辺の駐車場・駐輪場をご利用ください。

参加方法

以下のURLまたはQRコードからお申込みください。
<https://ougaigosympo2.peatix.com/view>

申込締切

2024年9月27日(金) **※先着順**

参加費

無料



お問い合わせ先

大阪大学人文学研究科箕面事務部事業推進係
TEL 072-730-5013 または 5015(平日10:00～17:00)
MAIL jibun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp

※シンポジウム参加者はその後のオクトーバーフェスト in 阪大船場への新たな申し込みは不要です。シンポジウム終了後、そのままご参加いただけます。

オクトーバー フェスト

in 阪大船場



クラフトビールで乾杯



箕面ビール

一杯 600円

チケット制(当日販売のみ)
ソフトドリンクあります

お食事・スイーツ等

多数出展予定!

Welcome
Foods &
Sweets
➔



(昨年の様子)

2024

10.5

定員
800人
(先着順)

SAT 15:00~19:30

「会場」

大阪大学箕面キャンパス 3階
ピロティ・阪大広場
大阪府箕面市船場東 3-5-10



<https://ougaigoctober.peatix.com/view>

オクトーバーフェストのみの
参加申し込みはこちら

※シンポジウム参加者は新たな申し込みは不要です。シンポジウム
終了後、そのままご参加いただけます。

※人数制限がございますので、お早めにお申込みください。

お問い合わせ先
CONTACT

大阪大学人文学研究科箕面事務部事業推進係
TEL 072-730-5013 又は 5015 (平日 10:00~17:00)
MAIL jinbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp



主催・企画 大阪大学外国語学部・大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻
協力 株式会社箕面ビール、大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学21世紀懐徳堂